

# めぶきニューヨークレポート

## MEBUKI NEW YORK REPORT

2023年2月号

- ◇ 【調査レポート】米国に見る高齢化 その②・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
- ◇ 【NYライフ】チャールストン・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
- ◇ 【ニュース一覧】・・・・・・・・・・・・・・・・ P.4

常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所  
712 Fifth Avenue 8<sup>th</sup> FL  
TEL : +1-347-686-8420  
E-mail : newyork@joyobank.co.jp

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

発行元：常陽銀行市場国際部



# 調査レポート～米国に見る高齢化 その②

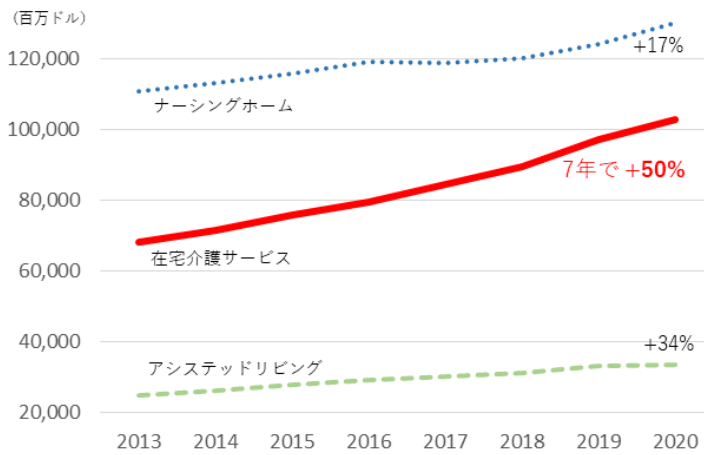
【写真引用：pixabay】

先月に引き続き、今月も米国の高齢化にスポットを当て、米国での高齢者を対象としたサービスやビジネスについてレポートいたします。

## 1. 米国の高齢者向けビジネスの成長

- ✓ 主要な高齢者向けビジネスと言えば、前月号でもご紹介した介護関連事業ですが、この分野における収益は近年伸び続けています。
- ✓ このうち最大シェアを占めるナーシングホーム（充実した高齢者福祉施設）は、2020年の収益が1,301億ドル（16.9兆円）となり、7年前の2013年の1,108億ドル（14.4兆円）と比較すると17.4%増加しています。
- ✓ またこの分野で特に顕著な伸びを示しているのが**在宅介護サービス**です。2020年の収益は1,027億ドル（13.3兆円）となり、2013年の683億ドル（8.8兆円）から**50.5%増加**しています。
- ✓ 米国では、親の介護は子ども自身（家族）で行う風潮が根強いことから、施設での提供型サービスよりも在宅介護サービスの需要が今後も堅調に推移すると考えられます（参考：在宅介護サービス市場規模 米国約13兆円、日本約8,000億円 2020年）。

図 各高齢者向けビジネス（介護関連）の収益の状況



【出所：Census Bureau】

\*アシステッドリビング  
ナーシングホームよりも介護度が低い高齢者向けの施設

## 2. 米国の在宅介護サービス

- ✓ 在宅介護サービスのうち、特に高齢者からのニーズが高いサービスは、以下が挙げられます。

(Family Matters at Home Care社調査)

- ①掃除や家のメンテナンス  
→ハウスクリーニングや雪かき（右①写真）など
- ②家の内外の移動  
→家のバリアフリー整備、ドライバー
- ③身だしなみ  
→入浴から着替えまでの介助
- ④食事ほか投薬管理  
→食事の準備や投薬の管理など

尚、バリアフリーに関しては、在宅介護サービス以外でも、例えば、高齢者や障がいのある方向けにスーパーが独自に電動車を設置する（右②写真）など、米国社会全体としてその対応への意識の高さが伺えます。



①ニューヨークほか積雪地帯では冬場の日々の雪かきが必須

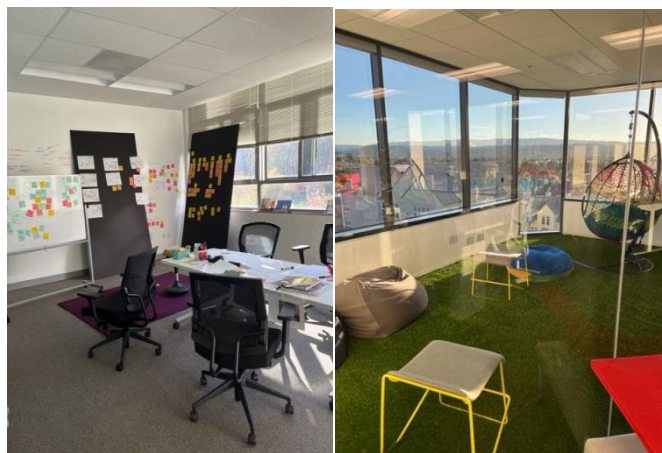


②スーパーに設置されている高齢者等向け電動車

### 3. 高齢者向けビジネス「エイジテック (Age Tech)」

- ✓ スタートアップ企業が多い米国では、高齢化社会に対応した新しいビジネスの潮流を、より多様に覗き見ることができます。
- ✓ 米国におけるスタートアップ企業への投資規模は日本の30倍以上とも言われています。「エイジテック (Age Tech)」と呼ばれる高齢者向けビジネススタートアップのうち、主要なデジタルヘルス分野は、資金調達額が前年比+79%増加するなど非常に注目度の高い分野となっています。
- ✓ 2007年に米国西海岸で創業した「Caring.com」は、全米の地域ごとの公的支援内容や訪問介護事業者、療養施設について紹介し、消費者(利用者)レビュー及びレーティング(評価)を提供しています。
- ✓ ケア提供者と利用者を個別にマッチングする「Care.com」は介護分野のみならず、ベビーシッターやペットシッターの情報も提供しており、シッター制が社会に根づいた米国において着実に実績を伸ばしています。また、関連分野の求職者向けの情報提供も行っており、幅広いニーズに応えています。
- ✓ 筆者もCare.comを利用しており、シッターのレーティングや経験を確認してから依頼できるため、利用しやすく感じます。こうしたマッチングサービスは競争が激化しており、今後の動向に注目です。

【シリコンバレーのスタートアップ関連企業のオフィス】



【ペットシッター需要の強さ】



ペット関連用品の専門店も多く、更に質の高いケアを提供するサービスもあるなど、米国ではペットを大事にする風潮があります。シッター需要も強いのが特徴です。

### 4. 金融等で高齢化社会をサポートする米国のスタートアップ

金融関連のサービスにおいても、高齢者を対象としたスタートアップ企業が生まれています。【Coral HPを参考に作成】

カテゴリ	企業名	特徴
資産保護・詐欺防止	Eversafe	高齢者の銀行口座や投資口座、クレジットカードを監視し、異常な引き出しや預金減少、不規則な投資活動、支出パターンの変化、請求書の支払い遅延を検出しアラートを発動
	True Link Financial	認知機能が低下した高齢者向けに家族や保護者、後見人らが、小切手などのプロセスを必要とせずに顧客のお金を入金管理でき、支払い先や金額などの制限を設定可能。
資産運用	Kindur	ワンストップのオンラインフィナンシャルアドバイザーとして資産運用と定期型年金を提供。資産を短期間に使い切らないよう、月額払いで振り込まれるのが特徴。
	Chime	ミレニアム向けに支持される仮想銀行サービス
保険	Clover Health	データ分析と予防ケアを活用することで、より手ごろな価格で高齢者の健康保険を提供
サイドビジネス	Steady	パートタイムの求人および、Uber EatsやPostmateのようなオンデマンド系の副業や、自宅の不動産や自動車の貸し出しといったシェアリングエコノミー系の募集もまとめて掲載
	Silvernest	自宅をシェアするルームメイトを探せる高齢者のためのプラットフォーム。バックグラウンドチェックサービスやオンライン契約ツール、家賃引き落としソリューションも提供
終活	Cake	病院と提携し、終末期に本人の希望通りのケアを受けれるよう支援

例えばサイドビジネスの「Silvernest」は、家賃を抑えたい人と一人暮らしに不安を抱える高齢者とのルームシェアのマッチング事業を展開をしています。賃料の上昇を背景に、現在は都市部を中心に利用されていますが、農村部でも強い需要を示すアンケート結果が出ており、今後も更なる拡大が期待されています。

### 5. おわりに

- ✓ 米国でも、高齢化の進展とともに新たなニーズに対応したビジネスが次々と生まれています。世界で最も高齢化が急速に進んでいる日本、スタートアップ先進国の米国、双方のエイジテック動向からはますます目が離せなくなりそうです。
- ✓ 当事務所では米国進出にお役に立てる情報をはじめ、こうした米国発の新しいビジネスを紹介し、日本での展開の参考になるような情報を提供してまいります。

(お問い合わせ先: [newyork@joyobank.co.jp](mailto:newyork@joyobank.co.jp))

【ニューヨーク駐在員事務所 吉田 圭佑】

\*写真はすべて筆者撮影



# NYライフ ～チャールストン～

ニューヨークから飛行機で約二時間、サウスカロライナ州にあるチャールストンは、1670年に建設された湾港都市です。建設から18世紀にかけ、南部植民地に向けた大西洋貿易と大規模なプランテーションによる農業で栄え、南部の文化と当時の繁栄を感じると同時に、奴隷貿易や南北戦争の跡が残る歴史的都市でもあります。歴史と文化、自然に触れることのできるチャールストンは、アメリカの人気都市ベスト1にも選ばれたことのある人気の街です。特に冬は温暖で過ごしやすく、寒いニューヨークからの旅行先にぴったりです。



## 【ヨークタウン (USS Yorktown, CV/CVS-10)】

太平洋戦争でも使用されたアメリカ海軍の航空母艦ヨークタウンが、博物館として港で公開されています。艦内と甲板には様々な戦闘機も展示されています。操縦室やミーティングルーム、生活空間など、艦内はとにかく広く、ほぼ梯子のような急な階段を上り下りしながら自由に艦内を散策することができます。戦争当時の映像や撃ち落とした戦闘機の数を示す掲示など、戦争についても改めて考えさせられる展示でした。

## 【プランテーション】

チャールストンの街から車で30分程郊外へ行くと、かつて大規模農業で栄えたプランテーションが整備され、庭園として一般に公開されています。川沿いに立つ立派な柏の木は、樹齢1000年だそうです。人々が散歩をしたり絵を描いたり、静かな中でのんびりした時間を過ごしていました。園内の博物館では、当時の生活の様子を見ることができます。



## 【歴史】

チャールストンは奴隷貿易で栄えた都市でもあります。かつて奴隷が売買された市場が旧奴隷市場博物館として残され、当時の様子を伝えています。一方、貿易で成功した商人が建設した大豪邸が立ち並ぶ地区もあり、一つの街で様々な歴史を垣間見ることができます。沖には南北戦争の発端となった戦いが行われたサムター要塞跡がありますが、悪天候で船が欠航したため残念ながら今回は訪れることができませんでした。



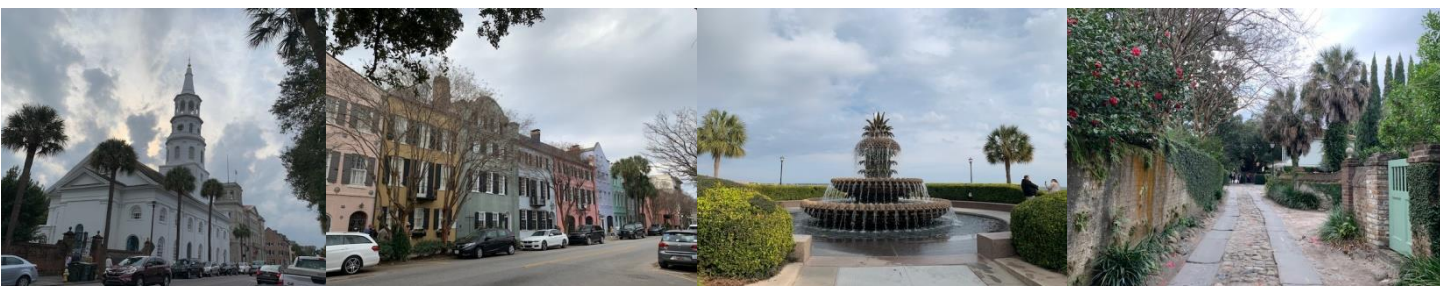
## 【食】

歴史のある老舗人気店からおしゃれなカフェまで、街中にレストランが溢れていてどこに行こうか迷ってしまいます。海が近いのでシーフードレストランも多く、その場で殻を剥いて提供されるオイスターは新鮮でとても美味しかったです。



## 【街歩き】

石畳の道や教会、狭い路地など昔からの街並みが残るチャールストンは、街を歩くだけでも見どころがたくさんあります。レインボー・ロウと呼ばれるカラフルな家が並ぶ通りや、海が見えるウォーターフロントパークにあるパイナップルの形の噴水はチャールストンを代表する観光スポットです。街のあちらこちらに雰囲気の良い路地が多く残っており、路地だけを巡るツアーも開催されていました。



(写真は全て筆者撮影)

# News 一覧

## <政治>

- ・米議会、1.7兆ドルの歳出法案発表、軍事費は過去最高 (12/19)
- ・バイデン大統領、ウクライナのゼレンスキー大統領と会談(12/21)
- ・バイデン大統領、国防権限法案に署名、一部条項に懸念(12/23)
- ・バイデン大統領、23年度歳出法案に署名、1.66兆ドル規模(12/29)
- ・バイデン大統領、不法移民対策強化を発表、入国許可拡大も(1/5)
- ・バイデン大統領、米経済は「新たな安定期」、政府支出が後押し(1/5)
- ・米下院、15回目の投票で共和党マッカーシー氏を議長に選出、議会運営難しく(1/7)
- ・バイデン大統領、就任後初めて米メキシコ国境視察(1/8)
- ・米司法長官、バイデン大統領の機密文書巡り特別検察官を任命、再出馬に痛手(1/12)
- ・バイデン大統領、下院共和党の税制案批判「インフレ悪化招く」(1/12)
- ・バイデン大統領、キング牧師の教会で演説、分断解消呼びかけ(1/16)

## <金融政策>

- ・ミネアポリス連銀カシュカリ総裁、米金利のピーク、5.4%を想定(1/4)
- ・FRB、12月のFOMC議事要旨公表、インフレ抑制注力も金利設定の「柔軟性」望む(1/4)
- ・クックFRB理事、インフレ巡り心強い兆候も、米インフレ依然高すぎる(1/6)
- ・カンザスシティ連銀ジョージ総裁、FRB、労働市場軟化に伴い複雑な選択に直面(1/6)
- ・シカゴ連銀エバンズ総裁、利上げペース鈍化を予想(1/6)
- ・サンフランシスコ連銀デイリー総裁、次回FOMC、0.25%、0.5%利上げいずれも可能(1/9)
- ・パウエルFRB議長、FRBの独立性は重要、気候変動への関与は不適切(1/10)
- ・ボウマンFRB理事、米インフレ「高すぎる」、利上げ継続が必要(1/10)
- ・アトランタ連銀ポスティック総裁、米CPI鈍化、利上げ幅縮小への安心感に(1/12)
- ・FRB、22年の国庫納付金は584億ドルと大幅減、積極利上げで(1/13)
- ・リッチモンド連銀バーキン総裁、FRBの利上げ打ち止め、物価動向次第(1/17)
- ・セントルイス連銀ブラード総裁、FRB「可能な限り迅速な」利上げを(1/18)
- ・クリーブランド連銀メスター総裁、FRB、5%を「やや」上回る水準への利上げ必要(1/18)
- ・フィラデルフィア連銀ハーカー総裁、利上げペース減速の用意、「0.25%が適切」(1/18)
- ・ダラス連銀ローガン総裁、次回FOMCで一段の利上げ減速指示(1/19)
- ・ボストン連銀コリンズ総裁、米利上げ、5%を「やや上回る」水準がピーク(1/19)
- ・ブレイナードFRB副議長、米経済、軟着陸に移行との見方強まる(1/19)

## <経済指標>

- ・中古住宅販売戸数：11月は409万件で10ヵ月連続減少（予想420万件）（12/21）
- ・新築住宅販売戸数：11月は5.8%増の64.0万件で2ヵ月連続で増加（予想60.0万件）（12/23）
- ・消費者景気信頼感指数：12月は108.3と前月から上昇（予想101.0）（12/21）
- ・国内総生産（GDP）：7-9月確定値は前期比年率+3.2%で上方改訂（12/22）
- ・米ミシガン大学消費者信頼感指数：12月（確報値）は59.7と、前月の56.8から低下（12/23）
- ・ISM製造業総合景況指数：12月は48.4で約2年7ヵ月ぶりの低水準（予想48.5）（1/4）
- ・非農業部門雇用者数：12月は前月比+22.3万人、市場予想を上回る（予想+20.0万人）（1/6）
- ・失業率：12月は3.5%に低下（予想3.7%）（1/6）
- ・CPI：12月は前年同月比+6.5%で伸び鈍化（1/12）
- ・小売売上高：12月は前月比▲1.1%（予想▲0.8%）（1/18）
- ・住宅着工件数：12月は前月比▲0.4%の138.2万戸で、4ヵ月連続減少（予想165万戸）（1/19）

（出所：各種新聞等、2022年12月下旬～2023年1月下旬のニュースを抜粋）